

令和元年度 学校自己評価表 (計画段階) ・ 実施段階)

68

福岡県立伝習館高等学校長 印

学校運営計画（4月）		評価（3月）			
学校運営方針	<p>【伝習館の精神】 (1) 「立花の義」人を大切にし、決して裏切らない (2) 「三稜精神」知・徳・体の調和のとれた人であれ (3) 校訓「明朗・誠実・剛健」と校是「志・鍛・挑・和を以て誇りとなす」</p> <p>【伝習館教育の基本】 3T「大切に育てます。丁寧に育てます。挑戦する心を育てます。」</p>				
昨年度の成果と課題	<p>重点目標</p> <p>具体的目標</p>				
<p>伝統校でありながら、消極的な面もある本校生徒に対し、「主体的に判断し、行動できる力」並びに「自らを律することのできる力」の育成をテーマに、様々な取組を実施した。特に、生徒の声に耳を傾け、生徒会がそれを取組に還元していく「アゴラ集会」を起点に、校則や制服を見直し、本校2大行事である「大運動会」、「三稜祭」の内容や在り方を生徒自らが検討できたことは本校にとって大きな前進であった。こうした一つ一つの取組は少しずつではあるが、本校の雰囲気をお転させ、生徒の成長にもつながったと考えている。総じて、地域や中学生、保護者の評価にもつながり、平成31年度入試では、推薦入学で2.2倍、一般入試で1.22倍と前年度を上回る高倍率を得た。今年度は、教育活動の自由度や多様性への対応を更に強化し、「3T活動」（大切に育てます、丁寧に育てます、挑戦する心を育てます）の観点のもと、生徒や保護者、地域に更に愛される学校づくりに邁進する。</p>	<p>(1) 豊かな学校文化を創ろう</p> <p>ア 充実の授業</p> <p>イ MT（学びトレーニング）の開始</p> <p>ウ 主体的2大行事の充実</p> <p>(2) 美しい心を育もう</p> <p>ア 三原則「時を守り・場を清め・礼を正す」の定着</p> <p>イ 学年掲示板の活用</p> <p>ウ 生徒会及び各種委員会の活性化</p> <p>(3) 信頼される教師を目指そう</p> <p>ア 授業力を向上させる</p> <p>イ 専門性を向上させる</p> <p>ウ 人間性を向上させる</p>	<p>・日々、授業力を向上させ、基礎学力及び思考力を伸ばし、希望進路の実現を図る。</p> <p>・「鍛え、ほめる」ことをもとに、主体性を育む行事及び教育活動の実践を図る。</p> <p>・伝習館スタイル(時・清掃・挨拶の在り方)を確立し、規範意識の維持向上を図る。</p> <p>・生徒・保護者に寄り添う学習・生活支援を組織的且つ系統的に行う。</p> <p>・地域及び中学校との連携を更に強化し、愛され、期待される学校づくりを行う。</p> <p>・「心の教育」の実践による「いじめを行わない・いじめを見逃さない人物」の育成を図る。</p>			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価（3月）	次年度の主な課題	
教務部	教務課	生徒の基礎学力及び思考力を伸ばし、希望進路の実現が可能な教育課程を検討する。	教育課程編成の手引きなどの情報を提供し、本校の教育目標を達成するための教育課程を作成する。		
		生徒の成績や出席統計などの情報を整理し、学年や他分掌に適切に提供する。	生徒の基礎学力や思考力を評価するために、ルーブリック評価などの新たな評価法を検討する。		
		教務課業務の効率化と平準化を図り、少ない人員でも対応できる体制とする。	単位修得の弾力化を図り、個々の生徒の実態に応じた対応を可能とする。		
	庶務課	学校行事を生徒の教育の場として扱い、円滑に進めるよう運営する。	定期考査の結果について学年や教科において分析し、学習指導の改善に資する。		
		図書館機能の充実を図り、読書センター、学習センター、情報センターとして多くの生徒に一層活用させる。	出席統計を学年・関係分掌に提供し、出席率向上のための検討材料とする。		
		父母教師会活動をより充実させ、保護者と学校との関係を密接にする。	進路指導課と連携し、学びの基礎診断の結果を教科会等で分析することで授業改善に生かす。		
		教務関係の業務のICT化を進め、教員の負担軽減を図る。			
		教務課業務の整理を行い、効率的な教務運営ができるようにする。			
		教務関係システムのマニュアル化を進め、誰でもシステムを扱えるようにする。			
		行事運営の可視化を行い、より少ない人員で運営できるようにする。			
		学校行事の持つ、生徒に対する目的を明確にする。			
		責任者会議、係会議を行い、全体で問題点を共有し、意思疎通を徹底する。			
		「朝の読書」の推進、「図書館便り」「新着図書紹介」の発行などで、生徒の読書意欲を喚起する。			
		定期的に選書を行うことで、蔵書の充実を図り本校にふさわしい書籍を購入する。			
		新しい図書管理システムの適切な導入を図る。			
		P T A 行事の手順は事前の打ち合わせをして、円滑に行えるようにする。			
		職員にP T A 行事への協力体制を構築する。			
		マメール（学校緊急メール）を有効に活用し、迅速な対応を図る。			

評価項目		具体的目標	具体的方策	評価（3月）		次年度の主な課題
教務部	広報課	地域、中学生やその保護者などに本校の特色を理解してもらえよう、学校案内やHP等を通して広報活動を活発化する。	HPに学校行事・学年行事や部活動報告を数多く掲載する。			
			学校案内の作成を早めて7月中までに配布できるようにし、早い時期から本校の良さをPRする。			
			校務用パソコンを用い、HPの記事データを効率的に集める。			
		オープンスクールや各種説明会で、本校の教育活動への理解を深めてもらえるような手段や方法を考案・実施する。	オープンスクールやミニオープンスクールを複数回開催し、参加者数のべ500名を達成する。			
			オープンスクール・ミニオープンスクールにおいて本校の魅力が実際によりよく伝わるよう、本校生・卒業生の協力の下に中学生・保護者対象の行事を行う。			
			中学生の志望校選択の時期に合わせた内容のオープンスクール・ミニオープンスクールを実施する。			
	中学校や塾との信頼関係を深めるための定期的な中学校訪問や塾訪問を計画し、全職員への情報の共有化を図る。	時期に応じた内容の定期的訪問を提案し、中学校や塾と信頼関係を深める。				
		中学校・塾対象説明会を開催し、本校の特色を伝えると同時に本校への要望や評価を探る。				
		他校の広報活動や志望者動向についての情報を収集し、本校の職員への情報共有を行う。				
	研修課	職員の研修意欲の高揚を図り、資質の向上に繋がる職員研修を企画する。	職員のニーズに応じた6回の職員研修会を企画・実施して実践的な指導力と資質の向上につなげる。			
			指導主事を招いて授業改善のための研修会や研究授業を実施し、「主体的、対話的で深い学び」を実現する。			
			キャリアアップ講座、予備校セミナー、各種研究会などの校外研修会へ複数の教員が参加できるように調整する。			
職員の人権に関する意識を高め、人権同和教育の推進を図る。		学年ごとに生徒の実態把握に努め、それに応じた人権・同和教育指導案の検討を行う。				
		生徒、保護者、教員の人権意識の向上を図るため、父母教師会と連携して人権講演会を実施する。				
		学校不適応や心理的葛藤を抱えた生徒への支援態勢を整える研修を複数回実施する。				
初任者の教職員としての自覚や使命感を高め、指導力の育成に繋がる実践的な初任者研修を企画する。	全職員で初任研にかかわり、学校全体で初任者の育成を行う。					
	初任者研修や教育実習に関する連絡や初任研に関する報告文書等の作成を確実に進行。					
	主任主事訓話や若い教員の体験談等を通して、教員を目指す意思がより高まるような教育実習を企画する。					
進路指導部	進路指導課	高い志に向き合い、挑戦する心を育成する。	進路講演会や大学出張講座を通して、国公立大学への挑戦100%を目指す。			
			外部模試に挑戦させ、到達度を分析し、更なる学力の伸長を図る。			
			外部検定試験に挑戦させ（CEFR A2）取得100%を目指す。			
	基礎学力及び思考力を伸ばし、第一志望進路の実現を目指す。	育成する力に応じた講座制課外・スーパーセミナーを実施し、大学合格率100%を目指す。				
		学びの基礎診断で自己適性を知り、自己進路を具体化させる。				
		生徒の可能性を活かしたきめ細やかな個別面談を学期ごとに実施する。				
地域や保護者に期待される取り組みや成果の情報を発信する。	新たな進路の手引きを発行し、生徒、保護者のニーズに応える。					
	進路情報や大学入試問題の更なる充実を図り、教師や生徒に有効活用する。					
	地域、保護者、生徒のニーズに応じた進路情報をHPで発信する。					
生徒指導部	生徒指導課	伝習館スタイル（規律と品位）の確立と規範意識の維持向上を図る。	マナー講座を実施し、端正な制服の着こなしを徹底する。			
			交通安全教育や登下校指導を通して、交通安全への意識向上の徹底を図る。			
			面談期間を通じて、生徒のサインを早期に見出し、いじめや問題行動の未然防止に努める。			
		大運動会・三稜祭をはじめとした学校行事の充実を図る。	生徒会や実行委員会を中心とした定例会を実施し、生徒中心の企画運営とする。			
			大運動会については、新たにチアリーダーやブロックTシャツを導入する。			
			三稜祭について、1日目は校内ステージ発表・校内展示発表、2日目は一般公開の成功を目指す。			
生徒の主体性の向上を図る。	生徒会を中心にアゴラ集会を活性化させ、主体的生徒の育成を図る。					
	各種委員会の活動内容の明確化と評価の場を設定する。					
	部活動の活性化と地域の活性化に繋がるボランティア活動への積極的参加を促す。					

評価項目		具体的目標	具体的方策	評価（3月）	次年度の主な課題
生徒指導部	保健課	心身の健康保持・増進に積極的に取り組める生徒を育成する。	健康診断の結果を整理・分析し、各学年・分掌等に還元しながら、情報共有を図る。		
			保健委員会の活動（保健だより）を充実させ、健康・安全に関する情報をタイムリーに発信する。		
			体育的行事・学年行事の前に校医による健康相談等を実施し、事故防止に努める。		
		清掃活動により学習環境を整える。また、奉仕活動等により、勤労と奉仕の態度を養成する。	大切に使う精神を掲示などによって伝え、毎日の清掃活動を徹底しながら学習環境を「整美」する。		
			美化委員会による清掃区域の巡回を各学期に1回行い、フィードバックさせる。		
			他の委員会等と連携を図りながら、地域清掃ボランティア活動を年2回実施する。		
		健康的で、生きる力を持った生徒を育成する。	保健室利用状況等、連絡票によって担任との連絡を密に行い、生徒の変化を早期に発見する。		
			学年・教育相談委員会・スクールカウンセラーとの連携を図り、生徒の支援に努める。		
			健康教育推進事業等の実施を通して、個々に対するきめ細かな支援に努める。		
第1学年	基本的生活習慣の確立	生活の記録の活用や個人面談をとおして、3点固定（起床時間、学習開始時間、就寝時間）を確立させる。			
		礼儀、身なり、規則や時間を守ることの指導を徹底し、伝習生としての品格を養う。			
		学校行事や部活動への参加経験をとおして、主体的に活動に参加することを身につける。			
	学習習慣の確立と学力向上	基礎・基本の学力は、授業で身につけるものであることを理解させ、予習・復習、家庭学習を定着させる。			
		考查前期間を活用した学力向上講座等の個別指導により、基礎基本の定着をはかる。			
		考查の結果を分析し、自分なりの課題を克服することで、主体的に学習に取り組む姿勢を養う。			
	進路学習の充実	ポートフォリオ（個人評価）を活用し、興味・関心、自己理解を深め、納得できる文理選択につなげる。			
		課外授業、校外模試や大学訪問等を活用し、志を高く持つ意識を高める。			
		よのなか講座等の体験を通して、社会貢献や職業研究について深める。			
第2学年	基本的生活習慣の確立	教員自らが、心を込めた挨拶、時間厳守、端正な服装などを率先垂範し、伝習館生としての品格を育てる。			
		毎日の清掃活動やボランティア活動を通して、校内外の美化の重要性を確認する。			
		すべての教育活動（掲示教育を含む）の中で、心を育てる言葉かけをする。			
	主体的な生徒の育成	課題研究に取り組む中で、自ら課題を探し、解決する方法を身に付ける。			
		学校行事で自分の役割を考え、皆と協力して責務を果たせるようにする。			
		服装や課外など自分で必要なものを考えて選択できるようにする。			
	進路実現に向けての基礎固め	オープンキャンパス、書籍、ネットなどで情報を収集し、2学期までに志望大学を明確にする。			
		国数英の3教科平均偏差値60を目指し、授業や課外の工夫を行う。			
		各教科で模試の分析を行い、生徒対象に日々の学習の仕方や注意点などの指導を行う。			
第3学年	3学年の自覚を持った生徒の育成	SHRや学年集会での講話によって、挨拶、時間を守る、制服の着こなし等、規範意識について指導し、実践させる。			
		学校行事への積極的な参加を促し、リーダーとして必要な資質について考えさせ、実践させる。			
		周囲への気遣いや配慮ができる生徒を育成するために、学校行事や学校生活全般で機会を捉え、全体指導や個別指導を行う。			
	第一進路希望実現のための取組の推進	学習コーナー等での自学を推進するなど、学校を拠点とした学習を促す。			
		受験生にふさわしい家庭学習時間を確保するよう、生活の記録を活用して生活のリズムを整えさせる。			
		学年会・担任会での進路指導に関する情報の共有を図り、生徒へのタイムリーな情報発信を行う。			
	自己実現を通しての人的成長	受験指導を通じて、自らの課題を知り、改善することで自信をつけさせ、挑戦する心を育てる。			
		掲示教育を活用し、クラス・学年の団結力を育み、皆で目標に向かう集団づくりを行う。			
		教員・生徒間の強い信頼関係を作るために、福岡アクション3を実践する。			